

第 1 回 群 馬 地 域 審 議 会

総合計画前期実施計画事業に係る質疑

事業名	No.	質 疑	回 答
生涯学習センター・男女共同参画センター(仮称)建設事業	1	基本計画策定が7月末、プロポーザル実施が8月から9月中旬頃という予定が載っているが、その辺の進捗状況はいかがか。	9月18日に業者5社によるプロポーザルを実施し、1社を選定した。現在は契約事務を進めている。
	2	この件に関しては、建設委員会とか建設協議委員会といったものが組織されているのか。	これまで建設に関しては、庁内に建設検討委員会を設け協議してきた。プロポーザル実施に関しては、新たに11人の委員からなる選定委員会を設け業者を選定した。当委員会は副市長、大学の建設関係の専門家2名、関係各部長、野村元参与が構成委員となっている。
	3	プロポーザル選定委員には、群馬地域からは野村元参与が入っているだけか。	野村元参与のみである。
	4	例えば、レール式の「展示パネルを設置してもらいたい」、「響きの良いホールにってもらいたい」などという細かいところの意見・要望を聞いてもらえる場が今後あるのかどうかお聞きしたい。	先日の勉強会で、業者からプロポーザルの概要を報告させていただいた。これから、基本設計となる。この基本設計ができ、詳細な図面が出来上がったら、委員の皆様に変更でご報告させていただく。
	5	先般より、当センターの建築については面積制限があるため、施設をこれ以上広げることが困難だという話はお聞きしている。だとすれば、現在群馬支所の3階はほとんど使用されていない状況かと思うので、この3階の会議室等空きスペースもセンターと一体で利用するという方法も考えられると思うがいかがか。	センターについては、漸く計画が定まってきた段階なので、支所の空きスペースのほうも併せて一体的な利用を調整していくのは、時期的にも難しいと思われる。しかし、以前より支所の空きスペースについては市民の皆さんが利用できるような方法を検討するよう市長からも指示されているので、ただ今のご意見も踏まえ今後とも検討してまいりたい。
	6	予算的にも面積的にも限られてしまうのは承知しているが、我々の子孫が利用するときになって不要となるような狭い施設となってしまっではもったいない。人口をみても、高崎市の約1割がこの群馬地域に住んでいるわけなので、その方々が利用することを考えても、できる限り広さに余裕をもった施設としてもらいたい。	(要望)
		これは、群馬地域審議会全体の要望ということでお願いしたい。	

三ツ寺公園整備事業	1	前回の勉強会のときには少年野球場の貸し出しについて、有料か無料かという議論があがっていたが、三ツ寺公園のソフトボール場については、どのように考えているか。	これまでの審議会の中では、三ツ寺公園と野球場との関係のある程度複合して考えて方向性を決めていきたいという話をさせていただいてきた。しかし、三ツ寺公園が来年度から一部供用開始されることになるので、早急に検討していく必要がある。まずここを、スポーツ施設として管理するのか、あるいは公園として管理するのが問題となってくるが、委員の皆様から意見があれば伺っておきたい。
	2	まず、多目的広場と遊戯広場の芝生はどんな状況か。また、遊具の供用開始はいつになるのか。	多目的広場については平成20年度に完成したが、芝生を1年間養生させる必要があることから、現在はまだ使用できる状況にはない。また、その北側の遊戯広場については、ふわふわドームはすでに完成しているが、大型遊具については来年の3月までには完成させる予定である。多目的広場と遊戯広場は共に平成22年4月から使用していただける。 なお、ソフトボール場については、工事自体は平成21年度中に完成するが、こちらも一部芝生を張るので、9月くらいまでは養生させなければならず、供用はそれ以降になるのでご了承いただきたい。
	3	ソフトボール場と野球場は、同様の考え方に基づいて管理していくのが良策かと考える。なお、管理はできるだけ利用者にとって申込みしやすい場所を考えてもらいたいがいかがか。	どこで管理するのかという件についても、貸し出しの有料化の問題にも関わるので具体的にはまだ決定していない。予約を受けるだけであれば、福島公園や堤下公園と同様な形で支所の建設課で取り扱えるかと思われるが、金銭が関わってくるとすると検討の余地があるかと考える。今後、市民の皆様が使い易いように検討していきたい。

その他の質疑

内容区分	No.	質 疑	回 答
保育園の入所申込について	1	<p>私立保育園の入所申込については9月1日から開始であると広報に載っていた。しかし、知人が9月に入ってすぐに私立保育園に申込書を提出にいったところ、2箇所とも断られてしまった。その知人については、母子家庭で、入所対象のお子さんが二人いるにもかかわらず、そのように断られるというのは、高崎市の保育行政のあり方に問題があるのではないかと。せめて、なぜ入所を断られるのか理由を明確にしてもらいたい。なお、運用として定員の125%まで入所できることになっているはずなので、少なくともその定員を超えて入所可能である25%の部分については、審査を厳重に行って入所を決定していただきたい。この場での回答は求めないので、本庁の部課長会議において検討願いたい。</p>	<p>支所の福祉課から、本庁の担当課のほうにお繋ぎすることとしたい。</p> <p>当件については、10月13日に開催した地域審議会勉強会の際に保育課長より下記のとおり回答した。</p> <p>市内各保育園においては、保育士数や保育室の面積等により、0歳児から5歳児まで年齢ごとに受け入れ可能な人数を設けているが、継続児等の関係で受け入れが困難となる場合がある。母子家庭である場合は、優先的に入所できるよう加点を行っているが入所を希望する年齢の受け入れ枠が一杯な場合は、受け入れができない。</p> <p>なお、受け入れ可能な児童数については、4月当初の入所時点で定員の115%まで、5月以降は定員の125%まで受け入れが可能となる場合もある。ただ、この数値は受け入れに必要な要件（職員体制等）を満たした場合にのみ適用されるものであり、すべての保育園が対象となるものはない。以上のことを踏まえ、少しでも多くの児童を受け入れることが可能となるよう、22年度の申込みについても、公平な審査を心掛け、十分に注意し取り組んでいくので、ご理解いただきたい。</p>
西毛広幹道について	1	<p>6月の市議会を傍聴に行ったときに、議員の質問に対して市側が答弁した内容の中に、西毛広域幹線道路について、高崎柏木沢線（県道123号線）から西のほうへ抜ける道路整備について、県のほうに陳情していきたいとあったが、その後支所のほうへ情報が入っているか。</p>	<p>具体的にどのような計画で進めていくのかということはまだ聞いていない。</p>
桜山小学校の通学路について	1	<p>にこにこ歩道橋を利用しての通学路を確保できたということが大変良かったかと思われるが、高渋バイパスから高専に抜ける道の安全確保というのを地域をあげて実施していくとのことだが、市側としても何か対策を検討しているのか。</p>	<p>県に申し出を行い、交差点のセーフティガードという赤いポールと、「歩道橋あります」という看板を作製してもらった。現在は、「止まれ」を意味する足型のマークの表示をお願いしている。</p>

桜山小学校の通学路について	2	高渋バイパスから斜めに左折をする車両の規制はできないのか。	これまでも警察のほうに要望はしてきたが、道路については歩行者のためだけのものではなく、広く皆さんが利用されるものであるという理由で、車両の制限が不可能という回答であったため、今後ともそのような要望は無理があるかと思われる。
	3	市道のほうを思い切って狭めることはできないのか。広いからスピードを出したくなるわけで、狭くなれば必然的にスピードを落とさざるを得ないと思われるが。	道路幅員に関しても、交通規制が不可能であるのと同様の理由で簡単にはできないかと思われる。現時点では、最良の策を実施しているもの。
新型インフルエンザについて	1	新型インフルエンザの関係で何か注意することがあれば、教えていただきたい。	9月初旬から、群馬地域のほうの小学校が学級閉鎖になったが、今は落ち着いている。今週からは群馬中央中2年生の1クラスが学級閉鎖となっている。
	2	群馬地域にある私立幼稚園の理事長から聞いた話だが、近隣の他の幼稚園で新型インフルエンザ児童がでた場合に、その情報がなかなか入ってこないということであった。保護者の中には、妊婦の方もいるので情報が欲しいということであったがいかがか。	私どものほうでも、学級閉鎖の情報は把握できるが、熱があっで休んでいる児童がどのくらいいるのかという情報については把握はできていない。その児童が新型かどうかということについても、私どもでは把握していない。
	3	新型インフルエンザの予防接種について、高崎市は何か対策を考えているのか。	例年実施している通常のインフルエンザの予防接種については、65歳以上の方については自己負担1,000円で受けられるが、新型については、まだ情報が入っていない状況である。
	4	小中学生への対策は何か考えているのか。	国の政策で動くかと思われるが、何も情報は入っていない。
旧中央中跡地の利用制限について	1	生涯学習センターの予定地にある旧中央中の体育館とグラウンドを借りて地区活動をしている団体は、いつまで利用ができるのか。	生涯学習センターの建設工事の開始を平成23年1月くらいから予定をしている。旧中央中の体育館は少なくとも、前年の9月～10月くらいから解体をしなくてはならない。解体の時期が決定になり次第、団体の皆様には連絡する予定である。また、グラウンドについては、文化財の試掘があるので、今月一杯はご利用いただける。
浜尻土地区画整理の進捗状況について	1	大八木工業団地から高前バイパスに繋がる道路の直近の状況を教えていただきたい。そこさえ解決すれば、桜山小の通学路の問題も解決すると思われるので。	いろいろな条件があり、難しいところもあるが、用地については今年度中にあげたいということで進めている。また、23年度中には工事を完了させ、24年度中にはなんとか開通するよう鋭意努力している。
群馬地域運動会の開催について	1	群馬地域の運動会については、合併前と同様に現在も続けているが、今後も継続できるか。	現在、各地区の行事について、市のなかで統一性をもって実施すべきものと、地域性があることとで精査を進めている。残すべきものは残すということで検討をしている。

キリンビール跡地について	1	キリンビールの跡地に森永が進出し、第一期工事が始まるという記事を新聞で見たが、その辺の情報について教えていただきたい。	キリンビールが撤退してかしばらく時間がたっていたが、森永が立地着工を決定し、非常に喜ばしいことだと思っている。雇用も含めて地域経済に与える影響は相当大きいものと思われるので、地元を代表する立場として、市のほうからも必要に応じてご要望をお伝えしながら、期待して見守りたい。
上武大学箱根駅伝出場について	1	上武大学が2年連続で箱根駅伝への出場が決まったということで、高崎市としても大変面白い話題で喜んでいるが、市のほうからの応援等の方策があれば教えていただきたい。	昨年も多少ではあるが補助金を出させていただいた。今年についても、同様に補助をさせていただきたいということで考えている。
市施設の省エネ対策について	1	街灯などを発光ダイオードに変えれば、だいぶ省エネ対策になるのではないか。また、公の施設でも発光ダイオードを利用することにより、経費的にずいぶん助かるのではないか。そのような方策を何か考えているのか。	群馬支所の庁舎に関しては、照明の省エネ対策ということで、国の経済対策に絡めて9月の補正予算で工事費を計上させていただいた。
	2	是非発光ダイオードにさせていただきたい。	発光ダイオードは大変高価なので、現在水銀灯を使用しているものを蛍光灯に変える予定である。